

# インテリアデザイナー



## あるあるネタ

- ・新築の内見に行くと、無意識に「ここをぶち抜いて…」とリノベ案を脳内展開。
- ・旅先のホテルでも照明や動線チェックに余念がない。
- ・家具や素材の名前をサラッと言う癖があり、周囲に驚かれる（「あ、これはオーク材ですね」など）。

## 初期の失敗

最初の案件で「格好いい空間」を目指しすぎて、クライアントのライフスタイルにまったく合わないデザインになってしまい…「見た目より暮らしやすさ」が何より大切だと学びました。

## 職業病

飲食店や病院など、どんな場所でも天井と床の素材をジロジロ見てしまい、さらには「この照明プラン、誰がやったんだろう」と考えてしまいます。

## 健康問題

現場とパソコンの往復で立ちっぱなし&座りっぱなしの両極端を経験するため、むくみ・腰痛・眼精疲労の三重苦に陥りやすい職業です。

## その職業に就いている人を讃える

あなたは「空間に魂を宿す舞台監督」ですね。目に見えない要望を形にし、人が心地よく過ごせる空間を生み出すセンスと技術はまさに天職。クライアントの「なんとなくこうしたい」に魔法をかけてくれるあなたの存在は、まさにインテリア界の翻訳家です。徹夜明けでも壁紙選びに燃えるその姿勢、どうか腰と目だけはいたわって、これからも美しい空間を描いてください。